

特集 2 消防緊急通信指令システムについて

システムの経年劣化のため、更新整備をするものです。議員からは、外国人や方言に対応できるのか、時間はどれくらい短縮できるのかの質問がありました。それに対して理事者からは、119番通報と同時に位置情報の把握、多言語・聴覚言語障害者対応、災害時電源供給及び近隣消防とのデータリンク等が行えるようになり、特に位置情報の入力の手作業であった部分が自動となることで時間短縮につながるとの答弁がありました。

生死に関わる救急の場での時間短縮は、市民により安心できる暮らしを提供できると期待されます。

特集 3 生活路線バス運行維持費及び子ども医療費支給費について

今予算に多く組み込まれた中で、生活路線バス運行維持費に、新しい支援として妊産婦を対象としたバス無料乗車券の交付と、制度の拡充として自動車運転免許証自主返納者への無料乗車区域を、これまでの対象路線よりも広げることが決まりました。これらは、妊産婦と自動車運転免許証自主返納者への日常生活交通の利便性の向上を目的にしています。

さらに、妊産婦を対象としたバス無料乗車券の交付と同様の子育て支援の拡充として、子ども医療費が市内の子育て中の保護者等を対象にし、その経費負担の軽減などを目的に、令和2年9月から現行の満15歳から満18歳までとなります。県の満15歳までの制度拡充にともない、勝山市は、さらにその一段階上の満18歳までの無料化の予算を決めました。子育て日本一を目指し、暮らしやすく、住みやすいまちづくりへ向けて、議会の議論と各担当部署・関係者の努力で一歩ずつ目標に向け前進しています。

特集 4 長尾山総合公園管理費について

増え続ける来園者の渋滞緩和対策として、バスの台数を増やしパーク＆ライドの拡充を実施します。

委員からは、来園者の多くは県立恐竜博物館が目的であることを考えると、勝山市だけではなく福井県とも協力して渋滞対策を行う必要があるのではないかという意見もありました。観光に偏重し、市民生活を疎かにすることがないように、適正な管理を求めました。



渋滞する国道416号